

**11.12 [SUN]**

リズ大行進

大宮アルディージャ VS 東京ヴェルディ

**のんびりタイム**

10:50 フレンドリーマッチ

11:25 大宮アルディージャU12 VS さいたまシティノースFC

**エンジョイタイム**

11:35頃 アルディと「ピッチde PK対決」

12:00頃 ダンスパフォーマンス!

EXPG STUDIO OMIYA

**ホットタイム**

12:10頃 プレーヤーズボイス

12:15 ウォーミングアップ開始

12:50 両チームメンバー紹介

サポーターの歌「叫ばずにはられない」

12:55 選手入場を盛り上げよう!!

両チーム選手入場

**飲食売店**

1 ALL SAITAMA	2 宮木牧場
3 JEST KEBAB	4 豚珍館
5 KANCH	6 インドリ屋
7 AAAキッチン	8 Y.S-KITCHEN
9 宮木牧場キッチンカー	10 グリーンバル
11 風の幸	12 さいたま市公園緑地協会

**TODAY'S PICK UP!!**

**GOURMET**

宮木牧場 黒毛和牛セリ辛 牛すじ煮込み 650円(税込)

**EVENT** 南雄太選手現役引退セレモニー

試合後のセレモニーにて、今シーズン限りでの現役引退を発表した南選手へのセレモニーを行います。

●実施時間:15:15頃 ●実施場所:ピッチ

**南雄太選手メモリアルグッズ販売**

日本サッカー史に残る偉大なキャリアを築き上げた南選手のメモリアルグッズをぜひお買い求めください!

●販売場所:スタジアムグッズ売店

**各種施設・サービス**

飲食売店 ● グッズ売店 ● AED設置箇所 ● ファンクラブブース

WE SUPPORT OMIYA ARDIJA

大宮アルディージャ オフィシャル・マッチデープログラム 発行日:2023年11月12日 発行:大宮アルディージャ 〒331-8585 埼玉県さいたま市西区大宮4-25-3 大宮アルディージャ\*オレンジキューブ 制作:ELGOLARZO 撮影:山田 勉、早草 紀子、高須 力

# サッカーのまち さいたま レリーフ公開記念

## 「大宮」応援キャンペーン実施中!

対象店舗で500円(税込)以上、飲食または商品購入をして、スタンプを貰って、特製クリアファイルと特製ステッカーを貰おう!

更にスタンプを集めて、選手サイン入りユニフォームの抽選に応募しよう!

**キャンペーン参加方法**

- 対象店舗で500円(税込)以上、飲食または商品購入しよう!
- 台紙(チラシ)にスタンプを押してもらおう!
- 台紙(チラシ)を持ってオレンジスクエアに!専用の申込用紙で応募して、抽選でサイン入りユニフォームが当たります!

**スタンプ1個**  
レリーフ公開記念クリアファイル 先着 1,500枚

**スタンプ2個**  
レリーフ公開記念ステッカー 先着 1,500枚

**スタンプ8個**  
サイン入りレプリカユニフォーム 抽選 20名

23 基目は 富山貴光選手

Love God and Serve His People

# 聖学院大学

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1 アドミッションセンター 大宮駅から1駅・宮原駅下車

- 政治経済学部 政治経済学科
- 人文学部 子ども教育学科 欧米文化学科 日本文化学科
- 心理福祉学部 心理福祉学科

# OMIYA ARDIJA

OFFICIAL MATCHDAY PROGRAMME

2023 第42節 VS TOKYO VERDY

## UNITE ONE

限界の先





# 21st 大宮アルディージャ

11勝6分24敗 得点37 失点69 得失点-32

# OMIYA ARDIJA V TOKYO VERDY

2023 明治アビス J2 LEAGUE

第42節

2023.11.12 [SUN] 13:00 NACK5スタジアム大宮

# 東京ヴェルディ 4th

勝点72 / 20勝12分9敗 得点55 失点31 得失点41



## 運を含めて何かが足りていなかった

クラブ創立25周年となる今季、大宮アルディージャは2季目の相馬直樹監督の下でシーズンをスタートした。レノファ山口FCとの開幕戦は矢島慎也の“返し弾”により敗れたが、ホーム初戦の第2節でツエーゲン金沢に勝利。その後はアウェイで負け、ホームで勝つを繰り返して、柴山昌也の決勝点でモンテディオ山形を下した第8節終了時点で、7位につけていた。

新加入選手はルーキーが多く、外国籍選手はアンジェロッティだけだったあのころ、まずまずのすべり出しに安堵したことを覚えている。

ところが、第9節のザスパクサツ群馬戦で今季ホーム初黒星を喫すると、そこから歯車が狂い始めた。続くブラウブリッツ秋田戦は強風の中で逆転負け。ホームで迎えた第14節では、そこまで1勝のみで最下位だった徳島ヴォルティスに敗れて6連敗。J3自動降格枠の21位に順位を落とした。

チームで唯一全41試合に出場してきた岡庭愁人は、シーズンの最終盤に今季をこう振り返っている。「全試合に絡んでいる自分に責任があることは承知しています。開幕からの数試合は、去年とは違った姿を見せられているという、すごくポジティブな手応えがありました。でも、勝てなくなった時期に何ができたか、僕自身を含め、主張できる選手が少なかったのかな、とは思います。チームの問題に気づいていけたけど、変えることができなかった……」

第15節・ファジアーノ岡山戦は、1点を追いつける後半のアディショナルタイムにキャプテンの富山貴光が値千金の同点ゴールを決め、連敗ストップ。アウェイから貴重な勝点1を持ち帰った。しかし、歓喜のドローを起爆剤とはせず、4日後にホームで行な

れたいわきFCとの直接対決で逆転負けを喫してしまう。この敗戦により順位が入れ替わり、大宮は22位へ転落。直後に原崎政人ヘッドコーチが新監督に就任したが、流れを変えられなかった。以降は第38節で山口を下すまで実に22試合もの間、最下位から抜け出すことができなかった。

振り返れば、随所で勝負弱さを露呈したシーズンだった。

41試合終了時点での時間帯別失点を見ると、76分から終了まで、つまり残り15分の失点がJ2リーグワーストとなる22点。2番目に多いのが徳島の18失点なので、際立ったデータと言える。また、第31節・ペガタ仙台戦のエヴェルトン、第34節・ジュビロ磐田戦のリカルド・グラーサの決勝ゴールは、どちらも試合終了直前のラストプレーでCKから決められたもの。そうした勝点逸につながる失点も、深く記憶に刻まれている。

痛恨の敗戦となった磐田戦の3日後、岡庭は満足いく結果が出ない現状に向き合いながら、苦悶の表情を浮かべて言葉を絞り出した。「勝敗を分けた原因が何なのか、何が足りないから勝点をつかめなかったのか、僕にはまだ正解が分かりません。だけど、あの試合は自分たちもチャンスがあって、自分を含めて、そのビッグチャンスを決めることができなかった。チャンスの後にピンチが来るというのは、サッカーの傾向としてあることはみんな分かってたと思いますが、それでも最後の最後で決められなかった。振り返ると残り20分くらいはチームのオガナイスが良くなって、ずっと攻め込まれていました。あのときピッチに立っていた選手が声を張り上げ、全員でこういう守備がしたいという思いを共有できていれば、あそこまで多くセットプレーを与えていなかったかもしれない。」

すべてタラレバになりますが、決断力や集中力を欠いていたわけではない、やられる雰囲気も全然なかったのに、あの位置にボールがこぼ

## 誇りを懸けた最終節。順位は変わらなくても、意地を見せてくれ

文=粕川 哲男



れて、股の間を抜けてゴールが決まってしまうのは、運を含めて何かが足りていなかったということ。日頃の練習の詰めのごさごと細部へのこだわりが弱さで、あの場面に出現してしまったのかな、と。半信半疑ながら、そう感じています」

## これ以上情けない姿は見せられない

後半アディショナルタイムのゴールに目を向けると、失点が4だった一方、得点も6あった。これは、ジェフユナイテッド市原・千葉、ヴァンフォーレ甲府、ファジアーノ岡山と並んで、J2リーグ最多の数字である。

第4節・磐田戦のアンジェロッティ、第15節・岡山戦の富山、第30節・岡山戦の室井慧佑、第37節・大分トリニータ戦の浦上仁騎、第39節・藤枝MYFC戦の袴田裕太郎と、6点中5点が、土壇場で勝利が引分けを呼び込む価値ある一発だった。

とはいえ、劇的な展開の末に勝点をつかみ取った喜びも、続く試合で勢いを保持できず敗れる不甲斐なさで打ち消されてしまう。先に述べた第16節・いわき戦を筆頭に、6試合中5敗。唯一の勝利は浦上仁騎が決勝点を奪った第37節・大分戦の次の第38節・山口戦のみ。そのうえ、1-5で惨敗した第22節・いわき戦など、いわゆる“6ポイントマッチ”でも結果を残せなかった。

ここまでチーム最長となる出場時間を記録している茂木力也は、「責任を感じています。ここまで試合に絡んで、自分の力で結果を変えられる試合が何試合もあったので」と語り、エンジンがかかるのがあまりにも遅かったと悔しさを噛み締めた。

「残り10試合が大事というのは、長くJ2リーグでプレーしてわかっていたことです。自分たちは残り7試合となってようやく勝ち始めたので、残りの試合数が足りなかった。もう少し早く結果を残せれば、もっと違った結果

を出せていたかもしれない。選手みんなが努力してなかったわけではないので、本当に細かいところの積み重ねが、この結果を招いたのだと思います」

茂木に続いて今季チームで2番目に長くピッチに立ってきた小島幹敏は、在籍7季目。大宮の歴史と、現状に至る経緯を知っている。「すごく残念です。今季は試合を重ねるたびに自分たちの弱さを痛感しました。ここ2、3年は降格すれすれのところで戦ってきて、年々弱くなっていることに薄々は気づいていたんですけど……きついですね。勝てなくて、模索して、あれもダメ、これもダメが続くうちに、もう取り返しのつかないところまで来ちゃったというのか。選手はやるしかなかったんですけど、やり切れなかった。結局、単純に実力が足りなかったんだと思います」

それでも、リーグ戦はまだ終わっていない。東京ヴェルディを迎える今季の最終戦、J1昇格を目指して必死の相手とのホームゲームで、どんな戦いを見せてくれるのか。21位という順位が変わらないからといって、プロとして失ってはいけないものもある。

ケガを乗り越えてプレーを続ける石川俊輝は、「アルディージャにとってすごく大事な試合だと思います。勝って終わりたい、負けて終わりたいとは全然違います。ホームでこれ以上情けない姿は見せられない、どの試合も投げ出すようなことは絶対にしちゃいけない。(南)雄太さんにとって最後の試合でもある。常にチームを支え、あれだけすばらしい功績を残してきた選手を、負けて送り出すことだけはできない」と、決意を口にした。

東京V戦が大宮で戦う最後の試合となるのは、J2通算400試合出場にあと1試合と迫りながら、今季限りでの現役引退を発表している南だけではない。原崎監督も退任が明らかになっている。シーズン終了後、契約を更新しない選手も出てくるだろう。だからこそ勝利で終わり、別れの言葉をかわしたい。大宮に関わる一人ひとりの、真偽が問われる一戦になる。

## PREVIEW OMIYA ARDIJA 東京Vの堅守をこじ開けられるか

残留か降格か。その答えは、J2クラブライセンスを持たないFC大阪 (J3) の最終順位次第で、今のところ結論は出ていない。とはいえ、東京V戦が今季のラストゲームで、このメンバーで臨む最終戦であることは間違いない。しかも、ホームゲームだ。そんな舞台で大宮は、意地を見せることができるか。

対戦相手の東京VはJ1自動昇格の可能性を残している。清

水と磐田の試合結果も関係してくるが、必勝の覚悟でこの一戦に挑んでくるだろう。ここ9試合は負けなしの5勝4分と好調で、リーグ最少失点を誇る東京Vの堅守を、どうこじ開けるのか。

今季最後の練習公開日となった火曜日、原崎監督は「絶対に戦う姿を見せて、最後は勝って終わらせないといけない。東京Vは守備が強く緊張感のあるゲームになるとは思いますが、ホームで必ず勝ちます」と力強く語った。苦しみ抜いた今季、最終戦の勝敗で順位が変わることはないが、プロのプライドを感じられる試合になると信じている。(粕川 哲男)



## PREVIEW TOKYO VERDY 自動昇格には勝利が絶対条件

前節・栃木戦は退場者を出して前半のうちに一人少なくなりながら、終盤に中原のFKが決まって1-0の勝利。自動昇格の望みをつないだ。勝点1差の2位・清水、同勝点の3位・磐田とは得失点差で大きく離されており、最終節で16年ぶりの昇格を決めるためには今節に勝つ条件下で、ライバルチームがともに引分け以下となる条件が条件だ。リーグ最多22試合の無失点試合を誇る堅い守備をベースに勝点3だけを狙う。(田中 直希)

## MEIJI YASUDA J2 LEAGUE STANDINGS

順位	チーム	試合	勝	分	敗	得点	失点	得失点
1	FC町田ゼルビア	34	21	7	6	54	23	31
2	清水エスパス	34	13	13	8	33	34	0
3	ジュビロ磐田	34	12	12	10	43	29	14
4	東京ヴェルディ	34	12	12	10	55	31	24
5	ジェフユナイテッド市原・千葉	34	10	12	12	30	30	0
6	ヴァンフォーレ甲府	34	10	10	14	39	48	9
7	モンテディオ山形	34	10	10	14	33	39	6
8	V・ファーレン長崎	34	11	11	12	37	32	5
9	大分トリニータ	34	11	11	12	32	33	0
10	ザスパクサツ群馬	34	11	11	12	45	31	14
11	ファジアーノ岡山	34	11	11	12	48	40	8
12	藤枝MYFC	34	11	11	12	33	33	0
13	ブラウブリッツ秋田	34	12	14	8	36	43	7
14	徳島ヴォルティス	34	10	12	12	42	52	10
15	ペガタ仙台	34	12	12	10	37	42	5
16	ロアソニール	34	12	10	12	39	42	3
17	水戸ホーリーホック	34	11	13	10	35	47	12
18	栃木SC	34	10	14	10	38	45	7
19	いわきFC	34	11	11	12	37	47	10
20	レノファロFC	34	10	14	10	36	48	12
21	大宮アルディージャ	34	11	6	17	37	69	-32
22	ツエーゲン金沢	34	9	7	18	25	69	-44

## OMIYA ARDIJA MEMBERS

Player roster for Omiya Ardiya including names, positions, and jersey numbers (1-37). Includes names like Masato Harashira, Takashi Kasahara, Shuto Okanishi, etc.

Player roster for Tokyo Verdy including names, positions, and jersey numbers (1-50). Includes names like Masato Harashira, Takashi Kasahara, Shuto Okanishi, etc.

Advertisement for Omiya Ardiya merchandise featuring 'JA ARDIJA BRUSHED WOVEN JACKET/PANTS' and 'ミッキーデザイン' items like face stickers, flags, and bags.

Advertisement for Yokohama Tyre & Car Wash featuring '換えて楽しむドライブは 買うを楽しむタイヤショップで!!' and 'タイヤガーデン5つの納得'.

Advertisement for Cat Cafe Mocha featuring a cute cat and the text 'CAT CAFE MOCHA'.